



平成26年10月10日

記者各位

JPAA記者会見

日本弁理士会による学生向け知財支援活動

～被災地小学校での知財授業をはじめとして～

日本弁理士会では、平成11年4月に知的財産支援センターを設立し、各地の学校で出張授業を行い、また文部科学省・特許庁・（独）工業所有権情報・研修館と共に「パテントコンテスト・デザインパテントコンテスト」を開催するなど、知財教育の分野で様々な活動を行ってまいりました。現在はさらなる充実を図るべく、新たな取り組みとして、高校教員向けの知財授業教材の開発を行っております。

そこで、今回は学校教育分野における、日本弁理士会による活動のご報告とともに、そのなかから見えてきた最近の動向、さらには今後の目標と展開についてお話をさせていただきます。

＜説明会概要＞

- 東日本大震災を経験した弁理士による、被災地小学校での知財授業
- 「フィッシュガール（マグロ解体少女）」に知財マインドを。
宇和島水産高校での知財授業
- パテントコンテスト・デザインパテントコンテストについて
- 今後の知財教育への取り組み

ご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようご案内申し上げます。なお、ご出席の有無につきまして、あらかじめご連絡頂ければ幸甚です。

記

- 日 時 平成26年10月17日（金） 13：00～14：00
■場 所 東京俱楽部ビル14階 日本弁理士会 14-A会議室
（東京都千代田区霞が関3-2-6）
■スピーカー 日本弁理士会 知的財産支援センター 第1事業部長 千原 清誠
運営委員 石川 龍郎
日本弁理士会パテントコンテスト委員会 委員長 市野 要助
■連絡先 広報センター事務局 石本、高橋
(TEL:03-3519-2361／FAX:03-3519-2706／E-mail:kouhou@jpaa.or.jp)

以上